

令和4年第1回燕市議会定例会  
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
2月28日(月)	午後	1	小林 由明 議員		○	
		2	樋浦 恵美 議員		○	
		3	土田 昇 議員		○	
3月3日(木)	午前	4	岡山 秀義 議員		○	
		5	柳川 隆 議員		○	
	午後	6	齋藤 信行 議員	○		
		7	大岩 勉 議員		○	
		8	中山 眞二 議員		○	
4日(金)	午前	9	渡邊 広宣 議員		○	
		10	タナカ・キン 議員		○	
	午後	11	長井由喜雄 議員		○	
		12	宮路 敏裕 議員		○	
		13	堀 勝重 議員		○	

令和4年第1回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	小林 由明 (一問一答方式)	1. 都市環境と立地適正化計画について	(1) 空き地・空き家や人口密度を取り巻く問題と、居住・都市機能誘導区域について	<p>①市街地外縁部などでの宅地造成や、住宅新設が進み転入者が増加する一方で、駅周辺など都市機能誘導区域内の人口密度の低下や、未利用不動産の増加が感じられるが、市内の現状は実際どのようなになっているのか(空き家・空き地数、空き家率、特定空き家数、空き家空き地活用バンクへの登録件数、住宅新設数、人口密度、社会動態、高齢化率の推移や不動産の市場動向などを踏まえて)。</p> <p>②高齢者世帯数と空き家数の関連性について伺う。</p> <p>③低廉不動産の取引の状況と課題について伺う。</p> <p>④市街地外縁部の農地の宅地化が進んでいるが、都市経営に与える影響はどのようなことが考えられるか。</p> <p>⑤市街地の拡散が進む一方で、人口密度が低下することにより、どのような影響が生じてくると考えているか。</p> <p>⑥空き地・空き家など未利用不動産や、人口密度を取り巻く問題について、特に都市機能誘導区域内におけるこれらの問題については、これまで以上に住民への働きかけをおこなうなど重点的な取り組みが必要と考えているが、市は新年度どのように取り組んでいくか伺う。</p>
			(2) 駅周辺の拠点性向上について	<p>①駅周辺の拠点性向上にさらに注力すべきではないのか。</p> <p>②吉田駅周辺は定住自立圏構想を共有する燕・弥彦の中心であり交通の要衝でもあるが、電車の運休や本数不足により帰宅できない中高生がいる。吉田駅からの広域循環バスの充実や、吉田駅周辺での中高生の居場所づくりにさらに注力すべきでないか。</p> <p>③燕地区のマチナカにおいて行われている中心市街地再生モデル事業では、市民の尽力と市行政の協力によりその事業進捗は順調であるという認識でいる。 行政にとってのモデル事業としてだけではなく、市内商工団体やまちづくり団体などにとってのモデル事業ともなるよう、視察や交流の受け入れをお願いしてはどうか。</p>
		2. 買い物弱者支援について	(1) 集会所などを活用したいちびの開催支援について	<p>①高齢により運転免許証を返納し、また、徒歩や自転車などでの遠方での買い物が難しくなっている高齢者世帯が増加している感があり、かねてよりそうした方の買い物支援が求められ続けているが、商工業者や農業者と地域とのマッチングをおこない、自治会集会所などを活用したいちび開催支援ができないか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	小林 由明 (一問一答方式)	3. 情報のバリアフリー化について	(1) ウェブサイトを通じた視覚障害者への情報提供について	<p>① 昨春に燕市公式ウェブサイトがリニューアル後、トップページにはスライドや画像を用いた情報が多くなり分かりやすくなったという声が晴眼者から上がる一方、ページの階層が深くなり、カテゴリーやページ内のメニュー数が多く、視覚障がい者にとっては目的とするページの本文(中身)までたどり着きにくくなっているという声を聞く。ウェブサイトを通じた視覚障がい者への情報提供はどのような考えに基づき、どのように行われているか。</p> <p>② 情報の配信となるベースは文字であって、画像やPDFはあくまで添え物であることを、ホームページを配信する職員すべてが認識している必要があるが、そのための研修などは行っているか。</p>
2	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 認知症対策について	(1) 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業について	<p>① 認知症の家族を持つ人は、徘徊などで行方不明になる心配とともに、事故を起こすのではないかと不安を抱えています。</p> <p>認知症の高齢者による器物損壊・事故などで、本人やその家族が賠償責任を負う事態に備え、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を導入している自治体があります。認知症高齢者等個人賠償責任保険事業について、本市の考えを伺います。</p>
		2. 女性が働きやすい環境整備について	(1) 生理休暇制度について	<p>① 生理休暇制度とは、生理日の体調不良により、就業が著しく困難な女性が休暇を請求した場合に与えられる休暇で、労働基準法第68条に定められている制度です。生理休暇を必要とする女性が取得できる環境整備をするとともに、周知・広報していく事が重要であると思いますが、本市の考えを伺います。</p>
		3. 市民の健康を守る施策について	(1) 带状疱疹ワクチンについて	<p>① コロナ禍でストレスや疲れを抱える人が多く、全国的に带状疱疹の患者が増えているといわれています。带状疱疹は誰もが発症する恐れがあり、生活にも影響が出るため、未然に防ぐためにも予防が大切であると考えます。本市では、带状疱疹ワクチンの周知と、接種の推進はされているのか伺います。</p> <p>② 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を行っている自治体もありますが、本市の考えを伺います。</p>
3	土田 昇 (一問一答方式)	1. 柏崎刈羽原発の問題点について	(1) 東京電力の一連の不祥事の認識について	<p>① 県知事選挙が(令和4年5月29日投票)予定されていますが、選挙になれば、柏崎刈羽原発の再稼働が大きな争点になると思います。花角知事は新潟県の独自の3つの検証について、検証にあたってきた一部の委員を高齢を理由に再任しなかったことや、総括委員会の委員長と意見が合わなかったことを理由に、総括委員会を1年間も開かなかったという大きな問題がある。</p> <p>東京電力の相次ぐ不祥事で再稼働を前に進められない理由はあると思うが、今後も依然として政府や経済産業省の圧力が強まってくると感じている。また、マスコミ等でも福島第一原発、第二原発の汚染水の処理問題が大きく報道されており、見通しが立っていないと思う。</p> <p>福島第一原発、第二原発を見ると、人類は原発と共存できないことが示されていると思いますし、県民世論は再稼働を許さないという声も大きいと思うが市長の見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	土田 昇 (一問一答方式)	1. 柏崎刈羽原発の問題点について	(1)東京電力の一連の不祥事の認識について	<p>②令和3年12月9日の新聞報道、柏崎刈羽原発で未点検のくい1,800本超えと大きく報道されました。2007年の中越沖地震の後、同原発で一度も被災状況の点検はしていない。東京電力の土木担当者は「地中のくいを点検するには掘り返さなければならず、くいに期待される建物を支える機能が損なわれる。今後、未点検のくいの損傷も調べるかどうかについては、まず6号機のくいの損傷原因を調べる」と答えている。</p> <p>この件について東京電力からそれ以降報告があったか。なかったら確認する必要があると思うが、今後どのように対処するのか。</p> <p>③令和4年1月4日の新潟日報の報道で、「東京電力の不祥事間断なく」の大きな見出し中の4点について、どのように感じているか伺う。</p> <p>(1) 原発トラブル隠し～記録改ざん当局欺く (2) 海水温度データ改ざん～不正操作大量に発覚 (3) 中越沖地震～活断層存在公表せず (4) 福島第一原発事故～安全を軽視備え怠る</p>
		2. 再生可能なエネルギーの推進について	(1)住民主体の省エネ対策について	<p>①燕市は近隣市町村と比べて見ても、再生可能エネルギー(太陽光発電)の分野では一歩も二歩も前進していると思っておりますが、今後各家庭に太陽光発電の推進を考えてみてはどうか伺う。(補助金等々も含めて)</p> <p>②第一次産業では、以前新潟県出身の方が全国農協中央会会長のとき、「用水路、排水路を使っての小水力発電が農業復活の力になる」と発言しています。今後参考にしてはどうか伺う。</p> <p>③第二次産業では、小水力発電の建設と維持管理、補修のメンテナンス等々は地元の業者から仕事として管理してもらうのはどうか。</p> <p>④第三次産業では、地元の信用金庫、信用組合等々と協力して、お金を活かしていく取り組みも既に始まっています。長野県の飯田市では、一時負担は市が行って、金庫、組合等が出資して太陽光発電の事業を金融商品として市民に売り出したら、爆発的に売れたという話も聞いています。今度は脱炭素対策も含めて必要になってくると思っておりますが、見解について伺う。</p>
		3. 国道116号線の吉田バイパスの進捗状況について	(1)早期着工について	<p>①今年度中に設計完了と報道されているが、今後詳細な説明はどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>②用地買収の取り組みは今後どのようなようになるのか伺う。</p> <p>③環境調査に問題はないと思うが、現在どのようなになっているのか伺う。</p> <p>④バイパスで農地から除外される面積はどれぐらいか伺う。</p> <p>⑤対象となる地権者数について伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	岡山秀義(一問一答方式)	1.心を育てる教育について	(1)長善館学習について	<p>①GIGAスクール構想により、燕市もオンライン学習環境が整備されてきた。心を育てる長善館の教えをオンライン学習で燕市の子供たちに伝えるべきと考えるが認識を伺う。</p> <p>②大河津分水通水100周年記念事業にあたる本年、大河津分水建設に尽力した長善館の門下生たちの学びを現地で学習し、先人の思いや心を学ぶべきと考えるが認識を伺う。</p> <p>③物があふれ生活は豊かになったが、人を思いやる心は貧しくなったと言われる今般。子供たちの心を育てるためにも、年間35時間ある道德の授業に長善館の心である「自分の良いところを伸ばす」、「困っている人を救うために学ぶ」、「学んだら実行することが重要」という学是を取り入れるべきと考えるが認識を伺う。</p>
		2.市営墓地について	(1)墓地管理について	<p>①燕市墓地公園245区画、燕市吉田墓地公園895区画、燕霊園878区画、合計2,018区画運営管理しているが、利用状況について伺う。</p> <p>②少子高齢化や核家族化、親族関係の希薄化などにより、墓地を管理できない現状が起きている。市営墓地において、年間管理費や墓地管理(参拝や清掃)の現状について伺う。</p> <p>③市営墓地申請書には各園金額は違うものの永代使用料がある。しかし、墓地撤去(墓守不在・墓じまい)に関しては申請書には明記されておらず今後大きな課題になると考えている。市の見解を伺う。</p> <p>④墓地撤去(墓守不在・墓じまい)や、墓は建立しないがお骨を納骨したい市民のために、どなたでもご縁いただける合葬墓・合同墓・永代供養墓や、納骨堂の必要性も考えていかなければいけないと思うが見解を伺う。</p>
		3.体育館の空調設備設置について	(1)安全で安心できる避難所として、子供たちの教育環境を整えるために	<p>①燕市の体育館にはどこにも冷房設備がない。毎年のように起こる複数の台風、豪雨、地震など近年、自然災害が多発している。緊急を要する災害時には、学校の体育館が避難所として開設され、避難してきた多くの人は不安と異常な猛暑で眠れない夜を過ごさなければいけない。</p> <p>また、毎日利用する小中学校の体育館においても、夏場猛暑により体育館での授業ができないときや、具合が悪くなる生徒もいる。スポーツ施設である総合体育館でも冷房設備がないため、夏の大会ができないのが現状である。昔と違い扉を開けて換気すれば大丈夫という時代ではなくなった。熱中症の対策として今後考えていかなければいけない大きな課題と認識しているが見解を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	岡山 秀義 (一問一答方式)	4. 燕市PR大使・燕市PR隊鳥(長)について	(1)市民への知名度の向上とイメージアップについて	<p>①「燕市では、市の知名度の向上とイメージアップを図るとともに、燕市の魅力を全国に発信するため、燕市PR大使を設置しています。燕市PR大使には燕市”ゆかり”の方で文化・芸能・スポーツ等の分野で活躍されている方々を任命し、【日本一輝いているまち「燕市」】を積極的にPRして参ります」と燕市ホームページに掲載されている。</p> <p>しかし、市内での活動が少ないためか燕市民に認知度が低いと感じている。大使、隊鳥(長)ともに自慢できる素晴らしい方々を今後も全国や市外、市内の皆さんに知ってもらうため、大河津分水通水100周年事業に出演していただき燕市の凄さをPRするとともに、コロナ禍で疲れた生活の中でも市民が元気をもらえるよう計画すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>②他自治体では毎年PR大使に予算を付け、知名度の向上とイメージアップに取り組み効果を上げている。燕市でも取り組んでみてはいかがか伺う。</p>
5	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 脱炭素社会の推進事業について	(1)次世代エネルギー技術等活用可能性調査事業のこと	<p>①この事業は、菅前総理が国会の本会議場で述べた「2050年までに脱炭素社会を実現する」という方針に基づいた事業である。本市には1,643万4,000円が国から配分される予定になっているが、どのような事業に使われるのか。</p> <p>また、その事業は基準によって事業採択されるのか。その事業は本市単独で行うのか、近隣自治体と協同行うのか伺う。</p> <p>②市内の5か所調査をする地域が上がっているが、その理由について伺う。</p> <p>③事業計画スケジュールによると、令和5年3月までに調査事業終了となっているがその後の予定について伺う。</p>
		2. 新型コロナウイルスワクチン接種について	(1)5歳から11歳の接種のこと	<p>①報道によれば「小学生全員に接種する場合の対象者は700万人から800万人にのぼる」とあるが、燕市内の対象者は何人になるのか伺う。</p> <p>②文部科学省は学校でのワクチンの集団接種には否定的な立場を取っている。昨年6月には主に中学校や高校を対象にいじめや差別が起こる懸念があるとし、集団接種を「推奨するものではない」との方針を表明しており、同省幹部は「小学生では一層、慎重にならざるを得ないと話す」と報道にあるが、燕の小学生を対象の接種はどのような方法で行うのか伺う。</p> <p>③新型コロナウイルスのワクチン接種を、国は予防接種法の臨時接種に位置付けており、予防接種法には「対象者は接種を受けるよう努めなければならない」とする規定があり、努力義務と呼ばれている。</p> <p>しかし、それを5歳から11歳の子供には適用外とすることを国は了承した。そうになると、接種を受ける子供は減るのではないかと思われるが、その点どうお考えなのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	柳川 隆 (一問一答方式)	3. 市長の政治姿勢について	(1)「天上新風」新しい風のこと	①市長は一昨年(2022年)の3月の定例会の施政方針演説の中で、良寛和尚の「天上大風」を例に挙げておられる。この「天上新風」、新しい風とは、今回の私の一般質問のトップに取り上げた脱炭素社会のような時代の流れとしての事業、また、令和4年度予算の中に見られる52件の新規事業などを包含した表現だと思われるが、どのような意味で使われているのか伺う。
6	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 小中学校の教育課題	(1)教員不足と教育の質の向上について	<p>① 1月末に報道各社が、本年度の始業日時点に全国の公立小・中学校で2,086人の教員不足が生じていると報じた。昨年度、燕市の教育配置の現状について一般質問で問うた際には、「欠員はない」との答弁であったが、今年度の始業日時点における燕市内の教員の配置についてはどうだったのか、改めて伺います。</p> <p>② 教員不足は教員採用倍率の低下に示されるように、教職への人気落ちていることが原因と考える。教員不足という課題に対し、市教育委員会として何ができるのか伺います。</p> <p>③ これからの時代を生きる子供たちには、与えられた情報を鵜呑みにすることなく、自分で問い調べ、考える「批判的思考力」を育成することが求められると考える。そのためには、教員自身が幅広い見方を身に付け、教科書の内容をただ教え込む指導からの脱却を図る必要がある。</p> <p>教員不足は教育の質の低下を招くといわれている中、大量退職、大量採用に伴う若手教員の割合が増加する現状がある。教員不足と若手教員の増加という現状を踏まえ、燕市の教育の課題をどう捉え、課題解決にどう取り組んでいくのか。</p> <p>また、令和4年2月6日の新潟日報の社説にも、文科省は教員免許更新制について令和4年7月に廃止する方針だ。外部人材の活用やタイムカード導入による労働時間管理など改善を模索するが、それで十分とは言えないだろう。</p> <p>国は人員不足への対応を教育委員会や学校に丸投げせず、実情を把握したうえで、業務量の負担減や教員増など抜本的な対策に取り組んでもらいたい。</p> <p>「教育現場を魅力ある職場にし、良質な人材を集めることは、子供たちの学びの場を充実させる上でも重要だ。教員が多忙化の中でがんじがらめになっているようでは、学びがやせ細るだけだろう。子供たちのためにも、教員の働き方改革を着実に進めなければならない。」とありましたが、課題解決にどう取り組んでいくのか教育長の所見を伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 小中学校の教育課題	(2) 燕市の支援事業について(県外研修も含めて)	① 燕市では新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業をはじめ、各種研修事業を予算計上して取り組んでいますが、新型コロナウイルス感染症の中で現状はどうか伺います。
		2. 道の駅国上のリニューアルについて	(1) オートキャンプ場について	① 道の駅国上のリニューアルの中ではオートキャンプ場もあるということですが、どの程度のキャンプ場になるのか伺います。
		3. 都市計画の中における農業振興地域内農用地区域について	(1) 都市計画の中における農地について	① 事業を行うには農地の転用が重要です。工業団地各種施設の建設には農地の転用があると思いますが、市の現状について伺います。 ② 農業振興地域内農用地区域の課題について伺います。
		4. 大河津分水路改修事業について	(1) 大河津分水路改修事業における残土利用について	① 令和4年1月26日に開催された大河津分水大改造事業促進特別委員会での河川事務所の説明の中で、「低水路堀削の200万㎡の土砂が増加され、トータルで1,200万㎡である」との説明がありました。「残土の利用に関しては、現在200万㎡程度であり、今後市で活用するといふのであれば大いにお願いしたい」とのことでしたが、市では今後残土利用に対してはどのように計画するのか、また、計画はあるのか伺います。
			(2) 大河津分水路改修事業におけるインフラツーリズムは	① 大河津分水路改修事業におけるインフラツーリズムの現状について伺います。 ② 残された旧可動堰についての今後についても伺います。
7	大岩 勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 県央基幹病院開院後の燕労災病院跡地の活用計画状況について	① 県央地域の拠点病院として県央基幹病院整備が進められているが、開院2年後と迫る中、県立吉田病院は現地改築方針が打ち出されている。燕労災病院跡地活用計画について燕市長としての考えを伺う。 ② 新潟県厚生農業協同組合連合会は、三条総合病院を有床診療所として継続することを、県央の5市町村で協議する会議でも報告されていたと聞かすが、県厚生連の経営難から一転して閉院方針とのこと。燕市長は受け入れるのか伺う。
			(2) 深刻な若者の県外流出に歯止めを	① 新潟県も人口流出が止まりません。2021年も5,774人の転出超過でしたが、燕市の19・20・21年度の転出超過数は何人であったのか伺います。 ② 燕市は移住・推進計画案に本腰を入れ、市民や事業者が議論する取り組みをされているのか伺う。 ③ 企業誘致や起業を目指す人の支援は雇用拡大にもつながります。庁内に強化を目的とするチームは活動しているのか伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	大岩勉 (一問一答方式)	2. 教育指導の問題点について	(1) 小池中学校系半プロジェクト活動について	<p>① 地域交流と地域発信に関連し、地域で魅力的に活躍されている方々の紹介・交流を通して、学んでいる活動は素晴らしいと思いますが、学校教育課の所見を伺います。</p> <p>② 市内の他の中学校でも同様な授業・学習指導を行っているのか伺う。</p> <p>③ 地域の魅力発見・貢献活動や、認知症サポーター養成講座と職場体験、施設訪問は中学生として大切な授業と思いますが、学校教育課の所見を伺います。</p>
			(2) 会員制交流サイト(SNS)の危険性啓発指導について	<p>① 市内小中学校でのSNSサイトの危険性の指導状況を伺う。</p> <p>② SNSが発端で犯罪に巻き込まれる被害者が低年齢化傾向であるが、教育委員会主幹の所見を伺います。</p>
		3. 燕市表彰式消防団員の授賞者欠席について	(1) 燕市表彰式消防団員の授賞者欠席について	<p>① 燕市表彰式は燕市として格式も品格あるものと思いますが、市長として表彰式に対する見識を伺う。</p> <p>② 受賞者の皆さんは市長からの賞状授与に緊張もし、それぞれの活動に気持ちを新たにされていましたが、消防団員受賞者23名中、式参加者7名(約30%)であった。例年のことですが、消防団員受賞者の授賞式への不参加者の多さにはあきれてしまいますが、市長は消防署の管理者でもあります。最高管理者の立場としての所見を伺います。</p> <p>③ 他町村では消防出初式などで、消防活動に貢献した消防団員を表彰されています、燕市も同様にされたらどうでしょうか。 消防団員は「綱紀粛正」を大切にされるべき団体と思いますが、毎年毎年、燕市表彰式に出席の少ない「傲岸不遜」な行動を取られる団体は、燕市表彰式にふさわしくないのではないのでしょうか。市長の所見を伺います。</p>
8	中山真二 (一問一答方式)	1. コロナ対策について	(1) 支援策について	<p>① 飲食店の現状と支援体制について伺う。</p> <p>② 飲食店に比べ、比較的明白な支援のない関連産業の支援について伺う。</p>
		2. 改修費におけるPDCAについて	(1) 水道の塔の解体費用について	<p>① 解体費用の見積額が、約10年前の4,000万円から数億円になったりと、提示される見積額が理解不能である。以前の4,000万の根拠と4億の根拠などを伺う。</p> <p>② 過去の見積額の検証、担当者の引き継ぎは適切に行われているのか。</p>
			(2) スポーツパークテニスコートの改修事業について	<p>① 地盤改良まで行う大規模改修となった理由とその原因を伺う。</p> <p>② 当初の工事は適切に行われているのか。</p> <p>③ 改修工事は適切に行われていたのか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	中山 眞二 (一問一答方式)	3. 地域振興について	(1) 自治会の無い地域について	①自治会の無い地域は、市が広報を配ることになっているのか。 ②広報配布などの経費について。 ③自治会が廃止された場合、市への要望は個人でやることになるのか。
			(2) 自治会長手当について	①自治会長手当は十分か。 ②自治会長手当は、自治会長個人に支給されているが、自治会に入れない理由となぜ会計や副自治会長などには支給しないのか伺う。
			(3) 自治会の任意性について	①自治会は任意の団体となっているが、市政と大きく関与しながら機能している。自治会はあって当たり前から、無いこともあるに備えての対策を考える時代になってきたと感じるが、所見を伺う。
		4. 県央の将来について	(1) 3市の協力体制について	①市長が考えている3市の都市整備のあり方や方向、今後の協力体制について。
9	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 市長選挙4選出馬表明について	①令和3年12月定例会で堀議員の一般質問を受け、鈴木市長は4選出馬表明されました。3期12年をどう評価され、時期、市長選挙での燕市の最重要課題をどう認識されているのか改めて伺う。 ②前回3期目出馬にあたり、鈴木市長は人口減少問題への対応を中心とした地方創生に取り組む決意を表明した。3期12年の検証と評価を伺う。 ③平成29年12月定例会で「多選」について一般質問を行ったが、改めて鈴木市長の首長の在任期間の認識を伺う。
		2. 新型コロナウイルス禍の市政状況について	(1) 各産業分野における影響について	①約2年にわたる新型コロナウイルス感染症対策に要した協力金・給付金等の業種別、分野別予算とその検証と評価を伺う。 ②令和4年度法人市民税において、二極化が見られる見通しだと示したが、令和3年度を含めて、業種別、企業規模別について具体的に伺う。 ③たび重なる学級閉鎖、学校生活の制約、学校行事の縮小・中止などによる児童・生徒又は保護者への影響をどう認識しているか伺う。
			(2) 今後の政策方針について	①上記を踏まえ成長分野への未来投資、人材育成(投資)の施策が必要と考える。認識を伺う。 ②社会経済活動を止めないうえで今、事業継続計画(BCP)が重要視されているが、燕市の現況と今後の対応について伺う。
3. 都市政策について	(1) コンパクトシティを含めた持続可能な都市形成について	①新型コロナ禍で人口動態、社会階層の変化が予想の域を超えた変動をもたらしている。財政負担を考慮に入れた将来のインフラ負担、税の在り方を含め、持続可能なまち形成に向け、総合的検討が必要と考えるが、改めて燕市の現況とコンパクトシティの認識について伺う。		

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 燕市全天候型子ども遊戯施設整備事業について	(1) 燕市全天候型子ども遊戯施設整備事業について	<p>①本構想策定のためのアンケート調査を行っています。それによれば、市民の皆さんは市内に全天候型の大規模な遊び場が無いと、近隣の新潟市や長岡市の施設を利用していること。そして、これらのことから、市民ニーズに応え、子どもたちの心身の健やかな成長に資するために本施設を整備することのこと。</p> <p>令和3年8月31日の議員協議会で、この施設の基本構想が説明されました。その時、私はけっこう厳しい意見を言いましたが、同じような思いの議員も多くいると感じました。施設整備をするのなら、燕市の子育て環境の充実をアピールするシンボルにならなかつたら、何の意味もないからです。</p> <p>類似施設として挙げている新潟市の「こども創造センター」を訪れたことがあります。とても素晴らしい施設でした。当時は燕市では無理だ、出来ないと思っていました。燕市全天候型子ども遊戯施設、他の自治体の施設と比べて内容では負けないものと考えていますか伺います。</p>
			(2) 建築設計について	<p>①近年の建造物は建築家が一流で有名ならば、作品として後世に語り継がれます。昨年の東京五輪・パラリンピックのメイン会場、新国立競技場の設計は建築家、隈研吾氏によるものです。三条市の図書館等複合施設の設計もそうですし、2016年にはスノーピークとコラボレーションしてモバイルハウス「住箱-JYUBAKO-」の監修もされています。アオーレ長岡の内部設計もそうです。全天候型施設の建築設計を一流の建築家に依頼することは考えられないか伺う。</p>
		2. ふるさとCM大賞について	(1) 第2回ふるさとCM大賞について	<p>県内の各市町村が制作した地元愛あふれる30秒のCMで、新潟の魅力を発信するコンテストである。主催はUX新潟テレビ21、新潟県、新潟県市町村振興協会である。審査項目は「情報発信力」「企画力・アイデア」「楽しさ・面白さ」で、大賞だけでなく総合順位がつけられ、参加市町村のセンスが問われるのである。第1回は24市町村、第2回は30市町村が参加している。</p> <p>正月の2日に放送された第2回ふるさとCM大賞を見たが、燕市の作品「学ぼう！燕市のルーツを探る旅」は他の作品と比べて大変残念な出来であった。「モノづくりの燕」としては、もっと質の高い作品をつくる必要がある。</p> <p>①燕市の第1回と第2回の総合順位について伺う。  ②大賞をはじめ優秀作品はどんな特典があるのか伺う。  ③30秒のCM制作にかけた予算について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	タナカ・キン(一問一答方式)	3. 若monoデザインコンペティション燕について	(1)若monoデザインコンペティション燕について	<p>ネーミングは素晴らしく、これまで6回開催されているが、大賞が最大3点までで賞金が10万円と少額なのが、ずっと気になっていた。新年度予算で、ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール及び若monoデザインコンペティション燕の受賞賞金の拡充が計上されていて、今後が大いに期待できると喜んでいる。</p> <p>①これまで6回開催されているが、出品数等の推移を伺う。</p> <p>②受賞賞金の拡充によって、何が期待されるか伺う。</p>
		4. コロナウイルス感染による児童の心のケアについて	(1)コロナウイルス感染による児童の心のケアについて	①子供たちの不安やストレスが緩和できるようにと市は「臨時相談電話」を開設しましたが、相談件数や内容について伺います。
11	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1)新年度予算について提案された以下の項目について	<p>①会計年度任用職員の報酬改定について、引き上げは歓迎するものであるが、改定の考え方と、幼児及び学童の保育関係職員の資格の有無による基本額への反映についてはどのように考えているのか伺う。</p> <p>②子供の医療費助成については、現状と変わらないとしているが、現状における費用負担軽減を拡大する自治体が増えている。これらは公平な子育て支援策でもあり、燕市としての拡大を求めるが考えを伺う。</p> <p>③合併浄化槽による汚水処理について、転換促進事業の考えと下水道整備区域への公費負担とのバランスについて伺う。</p> <p>④国民健康保険税の引き下げについては歓迎するものであるが、子供にもかけられる均等割については、国が行う就学前児童のみを対象とする半額軽減のみとしている。負担軽減と子育て支援の観点から均等割をかけないという考えには立たないのか伺う。</p>
		2. 子供のコロナワクチン接種について	(1)副反応に関する情報の提供について	①国は3月からの5歳から11歳の子供たちへの接種に向けて準備を進めている。子供の接種については副反応を心配する声がある。接種の案内において、副反応についての情報を伝えた上で接種の判断を求めてほしいとする声があり、重要であると考え。市はどのように準備していくのか伺う。
		3. 県央地域の医療と県央基幹病院について	(1)住民説明会のあり方について	①県は令和4年2月18日(金)13:00から13:45にオンラインでの住民説明会を行った。質問も14日は締め切るという手法で、県央地域の市民が参加できる説明会とは言い難い。再度オンラインではない説明会の開催を求めるべきではないか。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	長井 由喜雄 (一問一答方式)	3. 県央地域の医療と県央基幹病院について	(2) 県央圏域の再編計画の問題点について	<p>①医療需要の考え方を見ると、高齢者の増加で高度医療・急性期医療が減るとしていること、地域密着型医療需要を5病院の内科系入院実績としていること、及び利用率については県央基幹病院を85%に、地域密着病院を90%としているなどは多くの問題があると考えられる。燕市としての考えを伺う。</p> <p>②救急・手術を基幹病院に集中し、地域密着病院の救急は平日日中で手術無し、医師は内科系としているが一極集中であることをはじめ問題点が多々あるのではないかと。市の考えを伺う。</p> <p>③令和3年11月24日に開かれた「県央地域医療構想調整会議」で示された、「県央医療再編後の地域密着型病院の機能・規模について」の資料では、特に「転院割合」や「平均在院日数」を見ると、県央の医療に大きな影響を与えることになる。資料に沿って、示された具体的な影響について市の考えを伺う。</p> <p>④総じて、市は「県央圏域の再編計画」についてどう考えているか。問題の多い再編計画は見直しを求めるべきではないかと。市の考えを伺う。</p>
			(3) 三条総合病院の「閉院方針」について	<p>①基幹病院の開院に伴い、三条総合病院は19床の有床診療所として再スタートすることで、県央医療調整会議でも承認されて国も承認していたが、厚生連は閉院方針を三条市に示した。県央医療を守るためにも燕市としても19床の確保を求めるべきと考えるがいかがか伺う。</p>
12	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 新型コロナ感染から市民の命と暮らしを守る施策について	(1) 新型コロナウイルスワクチン接種事業について	<p>政府は感染症対策のまん延防止等重点措置適用期間延長を決定し、これを受け市長は「これまで経験したことのない感染状況」との認識を市長メッセージで示された。認識を共有し市民の命と暮らしを守る立場で以下、伺う。</p> <p>①ワクチン(3回目)接種の現況について、前倒しの取り組みも含め伺う。</p> <p>②新年度、ワクチン接種事業案では概ね5月末の接種完了を目指すとのあるが、ワクチン確保の見通しなど国・県からの情報がどう入っているのか伺う。</p>
			(2) PCR等検査の拡充について	<p>①新潟県ワクチン検査パッケージの利用について、市民からの問い合わせや県からの利用情報など入るのか。</p> <p>②新年度、介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業案では、抗原検査キットの購入も助成するが、事業者にとってキットの確保は心配ないのかどうか。</p> <p>③感染源を断ち感染抑止するには、ワクチンとセットでPCR等の検査が決定的である。介護現場だけでなく、福祉施設や保育・教育施設など、せめてリスクの高い現場での検査拡充を県にも働きかけが必要でないか認識を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	宮路敏裕(一問一答方式)	1. 新型コロナウイルス感染から市民の命と暮らしを守る施策について	(3) 療養者への医療と生活支援について	① 自宅療養者からの市への相談や、燕市「生活支援サービス」の利用の現況について伺う。 ② 健康観察や症状が悪化した際の受診の体制など、県や保健所と燕市として情報共有しているのか伺う。 ③ 厚労相の「小学校休業等対応助成金・支援金」制度の概要と周知について伺う。
			(4) 事業者支援について	① 経産省の「事業復活支援金」制度の概要と周知について伺う。 ② 同上是電子申請が原則であるが、その支障がある場合申請サポートをうたっている。商工団体の支援、市としての支援についてどうか伺う。
		2. 県立吉田病院のあり方について	(1) 県立吉田病院のあり方について	① 厚労相の公立・公的病院の再編統合議論の推進と、それに沿った花角知事の県立病院の再編姿勢では、コロナ禍でも直面した効率優先、「公共」の重要性の軽視であり、住民の感染防止と命を守ることにし、逆行につながるのではないかと懸念。 県立吉田病院は民間運営でなく、県立病院として運営されることが、地域住民にとって長い目でみても、安心と信頼を得られると考えるが、市長の認識を伺う。
13	堀勝重(一問一答方式)	1. 子育て支援について	(1) 「全天候型子ども遊戯施設整備」の進捗状況と、「市民ニーズに応える整備の実現」等について	① 平成31年3月議会、令和元年12月議会、令和3年3月議会の一般質問で、3回に渡り一貫して「全天候型子ども遊戯施設整備」の必要性について質してまいりました。令和3年3月議会での一般質問の答弁で、鈴木市長から「この施設整備は、今後の燕市の目玉事業になると思っている。並々ならぬ意欲を持って積極的に取り組んでまいりたい」と言った、力強い決意とも取れる答弁をいただいたところであります。 ようやく整備することとなった、この「全天候型子ども遊戯施設整備」に向けた、現時点での進捗状況について伺います。 ② より良い施設整備のための調査や、視察等の現状と今後について伺います。 ③ 「全天候型子ども遊戯施設」の施設規模や、構想・計画等について現状を伺います。 ④ 整備にあたり市民ニーズに応えるため、子育て世代の方々等に、アンケート調査等の実施をしていくべきと思うが考えを伺います。 ⑤ この「全天候型子ども遊戯施設」の竣工予定時期について改めて伺います。